

国連安保理決議1637によるマンデートの延長(仮訳)

要点:

- ・ 国連安全保障理事会は2005年11月8日、国連安保理決議1637を満場一致で採択した。
- ・ 国連安保理決議1546によるMNF-Iのマンデートを2006年12月31日まで延長・持続する。
- ・ 2006年6月15日までに、見直しが必要

効果:

- ・ 現行の指針及び保証が有効
- ・ 2005年12月15日の国民選挙の前にMNF-Iの将来に関するあいまいさを申し分なく解決
- ・ 2006年6月15日の見直し期日が、新政府が形成された後に存在

バグダッド 日誌 (11月10日)

○ 230回目の米海兵隊記念日

- ・ 米軍は、各軍種の創隊記念日をとても大切にしている。これまで、空軍、海軍の記念日をイラクで迎えたが、作戦中であっても、パレスに多くの多国籍軍人達が集まり祝賀行事を行う。今朝のBUAでは、ケーシー司令官が先日の海軍の時と同様、「海兵隊おめでとう」とハッピーバースデーを歌った。米軍のみならず、他国の軍人たちも、にこやかに歌っていた。米軍の「余裕」を感じさせる場面である。
- ・ 日本隊コンテナのすぐ隣に、米軍が鉄棒を設置している。夏の間は熱くて使えなかったが、最近は通りがかりに懸垂をしている米兵をよく見かける。今朝も完全武装(背のうのみ除く)で懸垂をしている米海兵隊員がいた。
(こいつは、何回ぐらいするのかな……?)とっていると、約30回はやっている。(やっぱり海兵ってすごいな……)と一人で感心していると、その隊員がこっちに来る、みると「40過ぎの中佐」だった。
(参った……俺は空身で10回がいいところなのに……)今日から毎日体力錬成をやろう……と思う。
- ・ これまでコアリション事務所の副所長だったガンター大佐(米海兵)が、IZ(米国大使館の経済支援部署)に配置換えになった。大佐は、予備役で派遣前は大学で経済学を教えていたという。親日派であり、今年初めのインドネシアの「ツナミ・オペレーション」では、[REDACTED]と同じ多国籍軍司令部で勤務したこともある。我々が、ここに来て以来、何かと氣にかけてくれるとともに、我々の質問にも丁寧に対応してくれた。
本日の祝賀行事に主役(バグダッド地域最年長の海兵隊員)として参加するため、ヴィクトリーに來た大佐に改めて記念品を渡し、これまでの謝意を伝えるとともに、日本人LO全員と記念写真を撮った。
写真を送ることを理由に新しい部署のメールアドレスをチャッカリ掌握した。
- ・ こうした行事に参加すると、普段忙しくてなかなか会えない人たちとも会うことができる。しばらく会わないので氣になっていた人たちと話をし、一緒に写真を撮ることができた。ここでも、「日本人と写真が撮りたかった」と言ってくれる人がいて、しばらくの間人気者になれた。特に米軍人達は写真が好きで、老若男女階級を問わず、一緒に写真を撮るのを好むようだ。
- ・ 行事では必ず、米国国旗の入場、国家の吹奏が行われる。2000名を超える戦死者がいて、今日もなお北部で戦闘を継続している「戦地」において、多国籍軍人達に混じって、米国国旗に敬礼するというのも、生涯二度とない経験だと思う。今、ここにいることに改めて感謝したい。